

令和2年9月24日

教育長答弁実録

（教育委員会）

（問）防災教育の進捗等について

広島県における防災教育の全体像と進捗状況及び課題について、併せて教育長に伺う。

（答）

学校における防災教育は、児童生徒の発達段階に応じ、各教科や総合的な学習の時間、特別活動等において年間を通じて指導すべき内容を学校安全計画に位置付け、体系的に実施することが重要であると考えております。

公立学校における防災教育の取組状況といたしましては、本県独自に作成した「自然災害に関する防災教育の手引」等を活用し、防災の視点を取り入れた教科等の授業が、約8割の学校において実施されているところでございます。

一方で、各学校で策定した学校安全計画の取組につきましては、教科間等の連携や体系的な整理が必ずしも十分ではなく、学校間での取組の差が生じている状況がございます。

そのため、本年度は、学校訪問等を通して、全ての学校で防災の視点を取り入れた教科等の授業が実施されることを目指すとともに、学校安全計画の好事例等を防災教育の手引に追加し、学校安全の担当者を対象とした研修会等において、この手引等を活用した学校安全計画の改善を図るよう指導することとしております。

県教育委員会といたしましては、引き続き、本県全体の学校における防災教育の状況把握に努め、学校の組織的な推進体制の確立を図ることにより、災害に強い広島県づくりに取り組んでまいりたいと考えております。